

1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調に、自他の生命を尊び、豊かな知性と感性を備えるとともに、国際感覚をもった心身ともにたくましい、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の目標を設定する。 ○よく考え がんばる子 ○明るく思いやりのある子 ○強い体で 元気な子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	「子ども・教師・保護者・地域が共に学び合い育ち合う学校」 ○子どもにとって学びがいのある学校 ○教師にとって働きがいのある学校 ○保護者・地域にとって誇りにできる学校
○児童・生徒像	○自分の成長を実感し、生涯学び続けようとする子ども ○自他の違いを多様性として認め、それを「よさ」として活かしていこうとする子ども ○人や社会のために役立つ働きをし、自らよりよい関係性や社会を作ろうとする子ども
○教師像	○授業の質を高め、常に学び続ける教師。 ○子どもの「よさ」を積極的に見出し伸ばしていこうとする教師。 ○保護者・地域と共によりよい学校づくりを目指す教師。

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

本年度は、学級減となり1学年が2学級でスタートした。どの学年も徐々に軌道に乗り始め、全般的には落ち着いた学校生活が営まれている。
昨年度の教育的課題は、「学力向上」の面にあった。授業には、ほぼ全員が真面目に取り組む状況であったが、同じ学年内でも児童構成や習熟度の2極化などにより学級間で学習成果の偏りがあった。そのようなことから今年度からは、全学年が学級編成を行い教育の不均衡さを生じさせないための取り組みを行った。安定した学力や学びへの意欲向上は教養となり、落ち着いた生活に繋がって行くというよい循環づくりを目指して取り組みたい。
なお、本校は1校1町会という地域と密接な関係を持つコミュニティスクールとしての独自性を持ち、地域の暖かい見守りを受けている。保護者の協力体制もとてもありがたく、地域・家庭・学校の連携で本校のさらなる向上を目指していきたい。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○
4	幼保小中連携	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎的学力の定着、活用力向上		学校平均通過率 80%以上				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業改善	全学年 全教員	年間	・各種研修、研究への取り組みと実践	・児童の授業振り返文の内容。 ・学力等テスト結果	単元毎 前期末 年度末	自己評価の際に記入		
2 継続	環境整備	全学年	年間	・補充時間の確保、教務と連携による時程調整	・再テストや演習による復習確認	単元毎			
3 継続	ICT活用	全学年	年間	・AIドリルによる補充、家庭学習の定着と充実 ・タブレットの効果的活用	データによる確認点検	前期末 年度末 (通過率80%)			
4 継続	学校図書館活用	全学年	年間	・「図書館＝調べ学習」概念の払拭(心の居場所)	読書マラソン その他	前期末 年度末			
5 継続	各種検定への取り組み	全学年	年間	・漢字検定等の取得目標設定による意欲の向上	受験者数 合格者数	その都度年2回 (合格率90%)			
6 新規	個別対応	全学年 国語・算数	年間	・A～D層の各現状と見込みの分析、対応。	通過率 80%以上の定着	通年			
7 新規	書くことの推進	全学年	年間	・毎日(1日おき)の日記 ・行事後の作文	育成方法なので達成は未設定	通年			

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感と人権意識の向上		年度末学校評価における８０％以上の肯定評価。	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
自己肯定感を持てる心を培う	・年度末評価で８０％以上の肯定的意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・QUによる個別分析。相談等の支援。 ・係、委員会、当番等の配当とその評価。 ・明確な学習目標を提示し、その達成度への指導評価。 	自己評価の際に記入		
人権尊重の心を育む		<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート等をもとにした人間関係の把握と改善への取り組み。 ・SCの全員面接 ・道徳指導やワークショップ、講演会等の充実 			
他者との関りを通して自分を知る		<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り異年齢交流「なかよし班」の実施。 ・特別支援学級との日常的な交流。 ・幼稚園や老人介護施設との交流、町会行事への関り。 			
自分を取り巻く環境への意識を高める		<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの取り組み。 ・クリーン作戦やペットボトルキャップの回収。 ・外部団体と連携した募金活動。 			

重点的な取組事項－3		体力向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
スポーツに親しみ健康安全な生活の実践		全国体力調査の結果が全国平均以上 学校評価で80%以上の肯定意見。	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
スポーツに親しむ 態度を培う	児童の体育に関わる自 己評価が80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・体力調査に向けての要点を 押さえた練習。 ・アスリートを招いたスポー ツ体験の実施。 	自己評価の際に記入		
日常的に取り組む 体力向上		<ul style="list-style-type: none"> ・全学年が交流しながら遊び に取り組む「こぢランド」 の通年実施。 ・季節ごとに取り組みが変わ る体育朝会。 ・外遊びの励行 			
健康や安全を意識で きる態度の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業を通して体の動か し方を理解し、安全への配 慮ができるようにする。 ・他の児童との活動内でルー ルや配慮を意識できる姿勢 を育む。 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。